

入学者受入れの方針
(アドミッション・
ポリシー)

—このような人を育てます—

工学部は、科学技術の分野における先端的、創造的な職業能力はもとより、自然、社会、文化等に対する深い見識を育むことを目指して、学生と教員のふれあいを重視した教育を行っています。特に演習、実験、卒業研究等、研究室での少人数教育を通して、世界に通用する学問及び社会の進歩を支えるものづくりに不可欠な技術の修得と、社会で活躍するための実践力や表現力を養います。

—このような人を求めます—

- 自然、社会、文化等に対して幅広い関心が有り、それらの基礎学力を持った人。
- 工学を理解するために必要な数学、理科に興味があり、それらを応用する能力と自主的に学ぶ意欲を持った人。
- 自分の考えを的確に表現し、論理的に伝えることができる人。
- 工学における問題解決の実践に情熱があり、社会に貢献しようという気概を持った人。
- 工学とその周辺分野に対する旺盛な好奇心をもち、真摯に問題を探求し続ける姿勢を持った人。

—入学者選抜方針—

●一般選抜前期日程

大学入学共通テストでは国語、地歴・公民、数学、理科、外国語の5教科7科目を課し、これまでに身につけた幅広い基礎学力とその到達度を見ます。さらに個別学力検査では、工学を学ぶ上で不可欠な数学と理科を課し、大学入学共通テストと個別学力検査の総合成績により入学者を選抜します。

●一般選抜後期日程

各コースでは前期日程試験とは異なる観点から、専門性に照らした資質、能力、応用力を見るために個別学力検査を課し入学者を選抜します。検査科目は機械工学コース、電気電子工学コースでは物理、応用化学コースでは化学、情報工学コースでは数学、また建築学コースでは立体スケッチと面接で、専門分野への適性、意欲、関心等で評価を加味し、総合的に判断して入学者を選抜します。

●総合型選抜

一般選抜とは異なる観点から学習意欲旺盛で進取の気概に富んだ学生を求めて、総合型選抜を行います。

2月に実施し、大学入学共通テスト結果を考慮のうえ出願書類と面接の結果を総合して選抜するもので、情報工学コースで実施します。

●学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課さない）【推薦①】

工学に関する専門知識を身につける意欲を持ち、高等学校長若しくは中等教育学校長が責任をもって推薦する者を対象とします。科学への関心が高く、工学部、特に志望する教育コースで学ぶために必要な基礎知識と理解力を持ち、工学に関する問題の

解決能力を自ら進んで身につける意欲のある学生を求めするために、小論文、面接及び出願書類（電気電子工学コースは筆記試験、応用化学コースは簡単な化学実験もあり）によって選抜します。

●学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す）【推薦②】

機械工学に関する専門知識を身につける意欲を持ち、高等学校長若しくは中等教育学校長が責任をもって推薦する者を対象とします。科学への関心が高く、機械工学コースで学ぶために必要な基礎知識と理解力を持ち、工学に関する問題の解決能力を自ら進んで身につける意欲のある学生を求めするために、大学入学共通テスト（3教科5科目）、面接及び出願書類によって選抜します。

●学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課さない）【推薦③】

工業（電気電子）に関する学科で学んだ者のうち、高等学校長若しくは中等教育学校長が責任をもって推薦する者を対象とします。科学への関心が高く、電気電子工学コースで学ぶために必要な基礎知識と理解力を持ち、工学に関する問題の解決能力を自ら進んで身につける意欲のある学生を求めするために、面接及び出願書類によって選抜します。

●私費外国人留学生特別入試

日本で積極的に学ぶ意欲に加え、入学後に日本語での講義がよく理解できる日本語能力及び科目の履修に必要な基礎的知識と理解力を充分備えているかどうかを、出願書類と口頭試問の結果から総合的に判定し選抜します。

●3年次編入学試験

工業高等専門学校を卒業、または、大学などの教育機関で2年次まで就学し、さらに高い専門性を身に付けようという意欲的な学生を求めています。推薦による選抜（機械工学コース、電気電子工学コース）と学力試験による選抜（機械工学コース、電気電子工学コース及び建築学コース）があります。

学位授与の方針
(ディプロマ・ポリシー)

本学に4年以上在学して所定の単位修得を充たし、以下の能力を備えている人に対して、卒業を認定して学位、学士(工学)を授与します。

1. 多面的思考能力：幅広い教養とそれに基づく多面的思考能力を身につけている
2. 深い専門知識：専門技術者として必要な工学に関する幅広い専門知識を身につけている
3. 高度なコミュニケーション力：国内外で活躍する人材としてのコミュニケーション力を身につけている
4. デザイン能力・ものづくり能力：工学の専門知識を基にした課題解決手法の設計能力、また、専門知識に基づく"ものづくり"を行う実践能力を身につけている
5. 制約下での仕事の推進・統括力：制約下での仕事遂行のための計画能力、実施能力、および他者との協調性やプレゼンテーション能力を身につけている
6. 技術者倫理：技術者に必要な教養と倫理観を身につけている

	<p>7. 自主的継続的学習能力：工学に関する分野に関心を持ち、自発的、継続的に学習することができる</p>
<p>教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)</p>	<p><教育内容> 工学の教育・研究を行っており、幅広い教養を修得するための教養教育科目と、工学に関連する分野の専門知識を修得するための専門教育科目が用意されています。専門教育科目は、すべての教育・研究分野に共通に必要な基礎的専門知識を身につけるための授業や演習、実験（専門必修科目）と、身につけた基礎的知識に基づいてより高度な知識を得るための授業（専門選択科目）とからなり、それらが有機的に編成されています。専門選択科目は幅広い分野の科目から構成されており、自分の関心や将来のキャリアに合った授業を選択し、興味をもって学習することができるようにしています。</p> <p><教育方法> 社会で活躍できる実践力を身につけた専門的職業人や技術者となるため、講義・演習・実験・実習形式の授業に加え、1年次には、グループワーク、PBL、プレゼンテーション能力やコミュニケーション力の育成を図るための教育が用意されています。また、実践力や応用力を養成するため、低学年次から実験科目を継続的に実施します。3年次には、インターンシップを通して、キャリアプランニングに役立つ教育や、技術者としての倫理観を養うが教育が用意されています。最終学年の4年次は卒業研究を行い、専門知識の応用力と実践力の向上を促す教育を行います。</p> <p><成績評価> 成績評価は、それぞれの科目に応じて、出席、レポート、期末試験などの試験によって総合的に行います。特に実験科目では、提出された実験レポートに対して図表を用いた記述や表現能力について評価します。</p> <p><カリキュラム評価> 毎年実施されている授業アンケートを基に適宜カリキュラムを見直ししたり、卒業生が就職した企業等関係者が来訪した際に卒業生の状況をヒアリングし、ディプロマ・ポリシーで示された能力が身につけているか等、卒業生の質について検証したりしています。</p>